大隈筆六

特別
リ5
12897
6

昭和九年八月七日
村井順氏寄贈

59-6601

大東急記念文庫

河の津面をこぎはしてゆくに
なをかりのしらなみ
をこぎまちーまとはるゝ
ゆくすゑもうらやましく
てあるひ伊ふを開散りてをれ
をしまもこゝきたる
とゝへと甲午敏吉日はねもとこそ
つくいりまくしたりしに
ちのまをてゆりしまひはりて
をこやをををををををを

きとのりはいしをこうしてえをを日
のうちは遅向りまをまうしは
ちうやををををを
しをつまいりて
いやとはりまりて一ぬを宿はをを
の日をゝ伊をゝ雷同院のり
まをは右欲四門をはをを
のををををまをあやををを
ををまりゝ忘れほとををを
ををへをちをををををを

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

源頼の朝臣朱雀院の御所にうたよみ
侍りける

[illegible]

[illegible]

[illegible]

寛平四年九月廿四日譲位のほどのまな
ばかりにてこそはわらはるる
とや侍らむの君は弘徽殿のうへうさは
きもうしとおぼしたるものかはれ
なるまとのうへはかりにもうしろめ
たうおぼしたるものかはなりき
ものはかなきものの
ものはかなきものの
ものはかなきものの

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

のとまりんうちにかりまさとかはきま
きりを九月のとさ渡りく九日乃
とうそをれうとは降りうを毛をみ日たゆ門
陳のまへまくいしとうをしてしとうをしし
あをれなりしに地うれとみをてとひ乃
うをりしに乃恵の年をとかりうこの
うをうてもやひをとなりに地をかりしう
しうりしなりまをてるをしくさま
ををつうしりをを毛をしりをりひり
まりるをとをりをりをりをりをりをり

よをやをてををてをとをうまりりをを中
山つていををしうをの山をを乃年宮
目のをへまをを毛をのをををもをををま
山まくをりんををををををををををく
里のをををひをまをりりをりりををえ
ををををををの山ををりををををり
んをてみをを二をををのをりををはを
まくしををりりまくををりる
をりりををりりりりりりりりりりを
ををりりりりりりりりりりりりりを

[illegible]
[illegible]
[illegible]

四らんとしほとこそとつこうしら行きて
の行く青原のおくまもあるしら
在後撰　ものひさの志つくしとへてわるさハ
あひ見てしらやこそあらん
和歌とを丹の四章も作りしそし
てこゆさわつかとろとやまさを
路とまらしこそもんきんとて小一条乃
おく、まちこみをかそ
そこ山ちの公もまろあハ
いまひとゆさきるん

あそれ山ものふさて四章
よあそこの色あてやきて可りこ
まりしなる猿山のひよさもあこ
市色と紅恒
まひらまもまらだきそあ成の
山のひあそふきふやいあを
そ丸日の席題ハつふさのやそほ
ゆきりしこさて又弟夜院乃母
ふよ行きまとこそきつそれさをま
ひこそ侍門の礼なこてきく

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

人々ものうんとそのゆきすぎけるとこそ
いわれたれ侍りてこれこそ天暦の御代
清涼殿の四方の御物のあれはてたりしふ
りにしをもしるしてよみ侍りける
乃ちうしてはなをもとりしきをもとり
てはるをもとりいとをもとりしらんち
りとやよみ侍りしふるひと京まうあり
きしうしと侍りさりしうの西の京は
そこなる家は人あまたさるまのやう
多くいりてさうしうしし

うえ家あるこのまよりれひまひて
りてさいていそりのるひしあるやう
そそそそそそそまいりてはりとにそ
ていうんをもしぬれはもりうえく
侍りしの

左兵衛

勅なしいしもうしうしひまの
やとそそそそいそんん
そわりしうしあやしうしかりうれ
てはしものいんそそそねそをぬまひを
きはしてゆきのやとしひそのとし

而なりけり是迄恨みとおもふ事
なくあるべかりしかども
きえぬ生のうくるは苦やはりきんさるを
ふやなるあるくまくるくまくる
をるるけられもくだるさ
とてこゆるやうるをみてをち
よやうくふ浮へしてはかりし四
河いこし彼岸後のあ所くゆ中八月
彼岸よりの門ひさしくるせ所さう
しり秋のゆくれしとそくく

ひさのひけるこうるせ物て所
うこうよりかりけりつやかは
かりうてせうるのうあるとまうて
うこは

さうあるあやきほとみるれる
かうて風のうとうるかう
うひうこうしほうてうたりうて
所集よ作うていうこうのうわは
うこけたりやるある人城かやりまる
とうて遠国うこはうて小家国うて

貫之のなりけれ（ゆゑ）とりすんなりて侍しう
ありとてとて四つ〜やそうまして
侍しひのともうまひき面みかり
しうはるてうしてつうしうみ
あるとみてほうへうあちしなる者
よあひうらかつてわしうこ
の侍しうしうもうしてきひさうより
をんなをていまうしうやうかる
あるものをとうをれて家人
しひてうへなしひて

よのもとにわかほそをのをのをの
をのわかさのをのをわかしをあはれ
をもをもをわかほそ
をのやこをいかりをんをもをわさを
をさまををさををやをまを
ををいをををををををををををを
ををにわををををををををををを
をををわををををををををををを
ゆをんをのをををををををををを
かをををををををををををををを

ををををををををををををををを
ををををををををををををををを
ををををををををををををををを
ををををををををををををををを
ををををををををををををををを
ををををををををををををををを
ををををををををををををををを
ををををををををををををををを
ををををををををををををををを
ををををををををををををををを
ををををををををををををををを
ををををををををををををををを
ををををををををををををををを
ををををををををををををををを
ををををををををををををををを
ををををををををををををををを
ををををををををををををををを
ををををををををををををををを
ををををををををををををををを
ををををををををををををををを
ををををををををををををををを
ををををををををををををををを
ををををををををををををををを
ををををををををををををををを
ををををををををををををををを
ををををををををををををををを
ををををををををををををををを
ををををををををををををををを
ををををををををををををををを
ををををををををををををををを
ををををををををををををををを
ををををををををををををををを
ををををををををををををををを
ををををををををををををををを
ををををををををををををををを
ををををををををををををををを

[illegible]て道傍中納言[illegible]家[illegible]元樹　乃さく
[illegible]なりて[illegible]中納言
[illegible]れ宰相乃さくるみ
[illegible]乃
宰相いまてさるまたほとゝ
[illegible]
[illegible]
[illegible]せ給ふ
[illegible]
[illegible]
[illegible]へ乃
[illegible]れ[illegible]

[illegible]て
[illegible]の[illegible]へ[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]宰相も[illegible]
[illegible]なりて[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]

まやのもとにおもしろくてゐたるに
しらなみのよるのうちにあるかと
まがうばかりにてゆきのふりて
ゐたるをあやしくおもひてゐたるに
ありつるもののまもるとおぼえて
きぬをかづけてゆきのうへにのこりて
ゐたるを人をしてとりてみるに
無量院殿のゆかりの人のあれをそこに
つもりてゆきのうへにのこりて
ゐたるをとりてみるに
なほ此歌ひとつの歌ゆゑ
上臈なりてゆかりの音信つねにまち
れしかしいつしかよるの物語
三位なりしかばほろりまゐえなりし
ゆかりしかりしかとも
ゆきえ花樂屋ゆかりまゐりてゐたり
しそしてやがてよもやうしさ
ことなり天磨の四間まてなり冷泉院の
式なりてこそはいとうとくれ

さうしろいろ紙に書たる歌
ふることをよみ侍りける小野宮家歌
も一の人とゆかりなる人なりけれ
ども人のもとにつかはしける
後冷泉院御製
わすれぬるはかなさをつゝみ
かねてこそ小野宮家
人くさいとゝ好くいと所の多なる
なりけるとゝ前辰冷月なるとも嫡なる
人つゝてゝ一つの家に殿
たゝ相子とりてしろいろ紙にそなへ
しるしわかしたる書
ゝゝて四巻もらわたさはあり所に
ゝゝしつゝてこゝろとゝきを紛れ
ゝゝ人の四巻ものの紛れるもの
りなりけりや何ゝゝこゝ
四巻ゝ人のゝゝゝひありなるは
ゝゝかゝきゝゝなりゝゝ
ゝゝもゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

とうさきまつひもあまへとうさ夜氏の山
ことのゝ中ゆかうこ源氏の山もとも
はゝゝゝ中ゆゝ人こそ一条院公家左大臣
夜さまゝ六条の御一つ所まつの御子とも
おとゝまと寛平の御孫なりとまうりそ
中たゝ人のゝ山おりさ所いそ有
おりまして宮もむとうこの沖う
とこゝゝ中さをおりまいまこし
六条院とおひゝ中させのつりもうあ
ゐとよゝいこおまうらりしく公まう

うかのまゝハ他かゝおまゝさせ人ゐまハ
てゆさゝゝ下れおりまこてゆこ
なりおゝ殿をみそうまゝまハ紫まそ
おりまうゝゝこそおゝ手下
はさなつゝきこそ海させまへりし
くゝたゝ人ゝとそハ中ゝちの子出家
せさを殿て仁和寺ゝおりまゝこそ
六の御殿時程ゝ史ゝくおりゝ中ゝ経
なれて仁和寺へまゝせ所ゝりの宮
とて所ゝ東ゝ文ゝとゝ高て一条

[illegible]
西のそうそうをはくこうそうと
東海道なるにすぎさせ所ひ使由裏
をいらんしてやしきをしらずおいはは
せさをあまりいそてきるのいきへあり
なそ一てみ家のわいきをしりハ新をちら
のゆゆまてよのまんなくもしらてあ
りさなりしくさ[illegible]
ア小人ちさ死よまりるまをて家未
よまりいてたちくみるひし

なりしてのあをせしりハ横敢生舎りて
いるまをもしりとのは故なをみて海
あくあるをせのこのいもよまりせ所
くりやわをへちるこ事ハしをてのるる
らをあてひさ申るわりにをひもちは
まスしひわりとをまるひきをさ渡は
はのいをこくるりまをへの
作とこをさりくわりまをへの
やをせまりはりるよをひくをせのひて
りのハいよりまをこ事海ハりと

まして世を所しらはは一条殿もまう
をあるところにおのをのをもをきらきら
なりけるとも天下のためまなりとてゆも
をもちのところにわりまきひろ所
とをまへるうせ所しほとのをさを
てらしまを所しこのをうりいて
うせ所てをかしてはは毎日は南を八幡大
菩薩南を人金剛童子南を大聖
波羅蜜多経とゆものゆをとうをてり
とりて一百八遍はまをはへしまを
りをれをりほりをまつをうせ所をを
四条をのをの石ををようくなんをゆ人
のをりりをまはきうをせ所ひてなつをう
ぬゆをそをうをてをかをまをけをこの夜
をまををををかをるををなんをてのやりをを
しりひをへをを所けをまを一条殿の河の
源河条をゆまへのをををを上道弟を
ちをの物見をそをを所しをを所ををの
ほををををを所ををををををををををを
ちををうをのやををををうをを所を中

くゆるよ給しとてみるのうちにあるつ
ゆくゑのかくれんかたをしらぬかなしさ
りうゆうはうきを弱たりしうそうと
さるとうわいのひとみてまさいて四つ石
へしとうの梅窓大納言なもちうての弱
をひかる夜上人うくれしうふとうて
うもきうちうさうりうりうりうやうの
うりうりうりうりうりうりうりうりうて
ひのまつたりしうあやうもうまか
しううりうりうりうりうりうりうて

今はうちわかりしくわかゆまとうての弱の玉
をいかる夜うちれいわうちうの弱をつりま
わりまきわほうきうをかの象文の弱子
うもれうそうくわりうやうしいを
師子いひうさうの僧を勸淨寺僧を二両と
ういわりうりうりうりうりうりうりうあ
うりうりうりうりうりうりうりうりうの
うりうりうりうりうりうりうりうりうの
うりうりうりうりうりうりうりうりうの

後賢なるべき君達をえらびとりてま
ゐらせたまへり　仲麻呂　花山院の
四河の石清水　源河　桑田　融院のゆらんを
そなへけるまゝにいさゝかなりけれど
人のこゝろをば今のおもかげにかけて
しのぶをぞおもひしかの前のこゝろをば
まことに院をつゐにくゝおもひたてまつる
とおもひしかどもまことをばしらでいたら
つる人もなかりけり　為人　判官
代　ゆゑ　ゆゑ　ゆゑ

おもひまゐらせたるとぞはべる
かたがたにつけてはいとあはれなる
ものゝかなしさにたへがたくはべりし
ものをとぞ　さてもあれ四の院
をばいかゞとおもひまつりあはせ
ゐたりけるに　ゆゑ　ゆゑ　ゆゑ
ゆゑ　ゆゑ　ゆゑ　ゆゑ　ゆゑ
ゆゑ　ゆゑ　ゆゑ　ゆゑ　ゆゑ
ゆゑ　ゆゑ　ゆゑ　ゆゑ　ゆゑ
ゆゑ　ゆゑ　ゆゑ　ゆゑ　ゆゑ
ゆゑ　ゆゑ　ゆゑ　ゆゑ　ゆゑ
ゆゑ　ゆゑ　ゆゑ　ゆゑ　ゆゑ
ゆゑ　ゆゑ　ゆゑ　ゆゑ　ゆゑ
ゆゑ　ゆゑ　ゆゑ　ゆゑ　ゆゑ
ゆゑ　ゆゑ　ゆゑ　ゆゑ　ゆゑ

祖ちゝ
ちゝの
ゆゑ
ゆゑ
ゆゑ

てゝ世界へり東三条殿一条大路殿
よりて納言小野宮殿右大臣殿
殿はかまを世界殿上人小野宮のしり
なりしかてゝさのゝ人は中つかうゝし
うゝんてゝれさほうゝもてゝゝ給
ゝのゝ兼人清涼殿いゝれのうてゝゝ
御はは河中原左衛尉云のいまゝ右兵衛督とゝ
ゝ行ゝそひいゝゝれゝゝし
車のまへゝゝゝゝゝゝ
ゝゝ神ゝゝ

はゝ御ゝまゝゝゝ神とゝかゝゝ
あゝゝいゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝ世界ゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝのゝゝひゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝなゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]
なる法をしやうしやうとなんのたまふ
僧とこれのたまくあまりにあ
てのひとりてらわりの修ふたり
法成寺のみ堂僧堂にとりまの修
をすることくさうじうしうに百僧な
ほ一人四堂にまの底よりそそ題名僧
八座ちとしてしたまへしまつあと
まれ堂の廊そいつまれたりまるまれ
僧の陪ちをそ修ひてけりそふ

行事二人はよみ十人はまうしうせ陪ひて
僧座をまとらいの堂の南にてようるく
をそてしもとあまさまうしてはまれを堂
ていしうしうわりてまくをしたら
とあまうそはあり修堂四ひてをふ
くをまうそうそをしたまへいしうし
りひまはみ四ひをしたまをしたまを
をわてていをくまうしたまを陪をまう
もあををまうしはまひまはみしの座を
ていまをもしうしまんなを後てをを

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

ねりてねのしあるそねうえてま
てしてしいさてしてかのあるひさ
ありはへのさまへりしまいたゆさ
ましてひ給てに入道殿とも
るはまりて四随身四人とれもうん
人うちひさきまうしまいたし
るまあるおこうんてはすうしひつて
そうちきかしとをもやをかして
ちとをうかりれやまてうてあうし
かりうて家れうたいれうとかしし

てうし四位ちの侍ちの右衛門ものの七番より
くうをうしうて入道殿いうしうし仕
中宮四位ひ上殿四川たち殿のそうやし
ろまうくひうてをかくいのうをもの
ひまあううひとをかて文中宮ふうねね
はうりれいは車うくまうちうをうち乃
やんてなうこうをうせまうう陣まを
くうやうきうて殿うまうしりえ
皇后宮の四ちれとうれつねのやし乃四
女中宮れいうのうやてうねうて

[illegible]の[illegible]とのてそいはは殿乃君
を[illegible]をなくなりをなりをなりを

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

ものうくもんもうしあるりあのさまか
ーーを仏生とうくんいさまうとてうど
なうくうくんわりうるうるふうとうとうある
つうしつうしううてもうとうあひゃ仏
ひてうるつうさおうとてうーーうあうて
ううきうんくうくいううえ
ぬううをわうるうるわるとしあうんん
ううこころはわりうくくつうとしううーうま
くうんて仏ーいはのるのうう金今日乃産の
戒和尚ゑ清ちうと弘仏かうりて

殺ーーまうん中にもわうーう十戒の
中ゑ妄語ーうくうるうて仏身なれこ
てうくふうちもあうてえんうきふこ乃
ううれしあうくうりをわうーて
ゑあもーもまいりてあやまちまつさなう
うてわりうくうれうーうまううて人の今
うう八万歳ゆうれうるくくゑ減ーうてい
ううて石うくいなう可ゆ仏うてわります
なりはうと生死の宮なうさうーと人ゑ
ううーわうくうて仏すゑ年とううて今

とやうにうへ減させのひさとふ
て八千ようしのへけさてこそして
をまて一千九百七十三をうそなり始
ほうの仏法ほ滅し始て八千
寛しへけまても仏人の命を不定なり
とこそさやへけさいうやうもろも九
十百の人をもつしなられとそれわ
きるもの命いまさなるまして
仏ようく希有くなりとそれをつさ
なりしをしいうりの人仏法滅

天皇とうしなりて大命代までの
ありさよ十代ようは百歳百余
歳まて持ちまつる仏門も形ばかり
ふまして末代ようきやけさ今ようの
形さるもなりしてを前生りも
和とうしけてこそよの
悪ようの生るもやあられまりかてん
と思ふ所をつるしきよの四生の報所
らん神明冥加ともさうをせと
ちうひくをうさらひひ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

河平の御ぞうしを八四ぞくをもるくん
よりかりうこ四ぞうあきををて
四ぞのうめとともちかんをあまりせ
をてて柳ひとをと仲平といわま
里四のうをうくをを反をてつらひ
をりうを四ぞのかわをを色沖
柳なりとを夏伝云ををれ四岡
ハうをやなくうりさうをひらくを
うをよのををわををあ岡う
中よ四ちるくをうをんうをなをくう

をのうきをを御ぞうををれりうをを
ををを御ぞうをををををを
花をひうををををををををを
と四ひ御をて又をををををを小歌
文庫御りをををををををを
をををををを海をはくりて
下籠のかををををををををを
をを御をうをのををををを
見をりて御をひをををををを
くををりををんををををを

[illegible]ふ貴所よりとゝやしの
[illegible]わりまてなる
[illegible]あさまつるに給
[illegible]ふる前ともて
[illegible]人のゆるさせ給さうん文下籠
[illegible]ときこしをを
[illegible]りよわりまいよ
[illegible]ひるゆてい涙し
[illegible]ろにとゝくいよ
[illegible]ひとわりをす

[illegible]てゝ
[illegible]ひうゝわひて
[illegible]みま
[illegible]くさをひくゝよりを
[illegible]

[illegible]ふをのなは
[illegible]ふるさ
[illegible]ゝもの浦よ
[illegible]のあをひともあまい
[illegible]ゝ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

このひろあやまてだて
うちとけしやさきにかけふえ
しはかり尚のあそびありし
秋こんやさしかりけるを
かりて月とゆきてふかたのの
つそこしのうりけりまつのしたれ
かなことありしるえ
てる月とゆきてうしふてい
ものとさしてこなりけり
とやうちというし感をなかれ

かうちさかてうまはに
同上
まてやこのしかりしかるそ
あまの風をまきてきをし
つうしうしよしうしのしの
ちうしうしてあて勅撰ままを
てなりはそりけりのなうをの
もかりしまをしうねう和歌のうちを
ゆさしうしうをかりしうは
あをひものをまを感をうをを
る浦なりをはうをををををう

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

くいるうまもうさんをよく
ろしみそりわるるもそしめりを思ふく
まへしをみてちうはちきわるるく
給とうをめをんまくいまをせ
入もしうそつくのあをよわしく
とをなりぬ給めんとつ二の
まひのわをなくくそ給ちうわ
りをきりんをわりしうをいもを
うんまりのをを幸百寿二年まをの
しををしを幸りちてをのの

やや八十三年のをなりうく給り
ひをいうやなふをうみををるを
をも給をぬりをををしをを
もみををまをやりも給ちり来
をををは師ををををも八十を
幸をををうのやをををへ
きなりををまをしををを給ま
のまひのわをを物ををひのわを耶
ををらやはんをを四孝をなをへ
てをををををををををををを

[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

いとゝはひさしうなれてあやうさ
あるなれどやはらかにうちなんと思ひ
よりてたゝうちとけてうちとけ
ゝうちとけてひとくちうちをかなと
思ひやはりしたゝかにはあれ
きすなをいまゝやはらかに
えしたてまつりしかくこそ
なさまさしけの名おとりてい
りなりうちあるかはりなる少なる小
ゆゑなりひとくちうちみ
なくうるやうくく
結